

令和5年度指定管理者適用施設 モニタリング評価調書

No. 81
ID 603210

【施設状況】

グループ名称	芹田公民館										
指定管理者名	芹田地区住民自治協議会							法人番号			
所管課	主	603200	家庭・地域学びの課		副						
構成施設	3375	芹田公民館									
施設分類	01	企画型			施設利用者圏域	01	地域施設	利用制適用区分	03	一部利用料金制	
施設概要	多目的ホール 1、学習室 3、和室 1、工芸室 1、料理教室 1、図書室										
施設設置目的	公民館は、市町村その他一定区域内の住民のために、実際生活に即する教育、学術及び文化に関する各種の事業を行い、もって住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与することを目的とする。										
基本方針等	地方自治法(第244条)教育基本法(第12条)の理念に基づく公の施設であることを念頭において社会教育法(第20条、第22条)に定める事業を、利用者の安全対策を図り、平等、公平な運営に努める。										
主な実施事業	・成人学校の開設 ・各種講座の実施 ・講演会 ・展示会の開催 ・図書等を備えその利用を図る ・貸館事業										

【項目評価基準表】

評価	評価基準
5 (優れている)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上で、指定管理者のノウハウや努力等によるところが特に大きい
4 (良い)	・協定、事業計画に基づく管理運営や事業の実施が期待以上
3 (普通)	・協定、事業計画が予定どおり実施された
2 (劣る)	・協定、事業計画の一部が予定どおり実施されない ・管理運営の一部において、市の指導が必要
1 (悪い)	・協定、事業計画が全て実施されない ・管理運営の全てにおいて、市の指導が必要 ・市の指導を受けてもなお、全く改善が図られない

【評価項目】

1 指定管理者の健全性

指定管理者名		芹田地区住民自治協議会			当該指定管理者の 指定回数		2回			
指定期間		令和3年4月1日～令和8年3月31日			5年		当該指定管理者の 管理運営開始日		平成30年4月1日	
指定 管理 者の 健 全 性	施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか。 また、団体の財務状況や組織体制は、管理運営実績のある他施設での管理運営状況も踏まえ、良好で、健全か。									評価
	特記事項 (問題等があった場合に、 その内容等を記入)									3

2 施設の有効活用

施設利用状況 (利用者数、件数、稼働率など)	利用区分等	単位	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	対前年比	評価
	利用者数	人	17,973	20,347	43,025	29,083	68%	
	利用率	%	21.3	23.2	30.2	30.9	102%	
	(特記事項)							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案			追加事業、未実施事業及び未実施の理由			3
	市指定事業	・芹田公民館の利用許可に関する業務 ・社会教育法第22条に規定する事業の実施に関する業務 ・芹田公民館の設備及び維持管理に関する業務 ・教育委員会が定める業務や受講料の収受に関する業務 ・芹田公民館の利用の許可、不許可及び取り消しに関する業務 ・施設、付属品及び物品の維持管理に関する業務						
	自主事業	提案を求めている						
サービス維持・向上の取組み (広報等)		・公民館報 1回／年 発行(全戸配布)。また、ホームページの更新により情報発信を行い、公民館活動の広報をした。 ・上記のほか、講座の開催案内にあたり、広報ながのの配達にあわせて、毎月チラシの回覧をした。また、マスメディア(市民新聞)も活用した。 ・主に親子学級について、チラシに二次元コードを掲載し、Eメールで申し込めるようにしている。						

3 利用者評価

区分		内容		評価
利用者要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート		3
	(2) 調査、会議等の内容 ・学級講座ごと受講者を対象に、講座終了時にアンケートを実施した。アンケートには次に希望する講座内容記載欄を設け、利用者ニーズの把握をした。 ・貸館利用者は、利用簿の欄に要望を記入する欄を設け、利用簿返却時等に聞き取りを実施した。			
利用者からの評価・要望・苦情等	(3) 調査、会議等の結果 実施した一般講座:40講座(79回) 講座参加者数:1,939人 うち アンケート回答者数461名 満足:85% やや満足10% やや不満5% 不満:0%			
	(1) 良好とする評価 ・SDGsを意識した「金継ぎ講座」は、応募が殺到し受付5分で定員となった。「思い入れのある器を修復することができた」などと大好評であった。 ・館内外を毎日清掃し、清潔感を保っていることが利用者から喜ばれている。 ・施設内には、職員のアイデアにより、アンブレラスカイや浮き輪等、季節に応じた飾りつけを行い、好評であった。			
	(2) 苦情・改善等の要望事項 A.全館清掃「お掃除大作戦」を成人学校やサークルに呼びかけた際、強要していると苦情があった。 B.支所の行事と重なると駐車場が満車となり、車が市道まで連なり、苦情が絶えない。 C.学習室1にあるピアノが老朽化しておりメンテナンスができず、他の部屋にもピアノがあるため撤収を試みたが、一部の方から強い反対にあった。			
《対応措置》 A.強要ではなく、「自分たちで使ったものは自分たちできれいにしよう」という趣旨の説明を行った。 B.支所職員とともに交通整理をし、通路脇等への駐車を誘導した。 C.調律ができる方を探してその方に依頼したところ、一時的に音が改善したため、撤収を保留した。				

4 事業収支

No. 81

事業収支 (単位:円)	指定管理者収支(令和5年度)				市の収支				評価	
		年度計画額		収支実績額			令和5年度決算		令和4年度決算(前年度)	
		項目	金額	項目	金額		項目	金額	項目	金額
	収入	利用料金	3,300,000	利用料金	3,528,696	歳入	使用料	12,560	使用料	16,830
指定管理料		18,208,000	指定管理料	18,208,000	雑(納付金)		2,403,167	雑(納付金)	2,950,520	
委託料			委託料		行政財産目的外使用料			行政財産目的外使用料		
販売収入等			販売収入等		貸付料		0	貸付料	140,000	
その他収入			その他収入		その他			その他		
	計	21,508,000	計	21,736,696		計	2,415,727	計	3,107,350	
支出	人件費	9,501,000	人件費	9,489,757	歳出	指定管理料	18,208,000	指定管理料	18,208,000	
	設備管理費	1,384,000	設備管理費	1,304,790		委託料		委託料		
	備品購入費	200,000	備品購入費	161,651		需用費	2,335,902	需用費	2,883,962	
	修繕費	250,000	修繕費	86,064		役務費		役務費		
	光熱水費	2,893,000	光熱水費	2,401,686		使用料・賃借料	141,955	使用料・賃借料	140,728	
	事業費	4,010,000	事業費	3,696,952		修繕費		修繕費		
	事務経費	2,320,000	事務経費	2,124,773		工事請負費		工事請負費		
	本社経費		本社経費			備品購入費		備品購入費		
	その他	950,000	その他	985,800		その他		その他		
		計	21,508,000	計		20,251,473		計	20,685,857	計
自主事業	収入		収入							
	支出		支出							
	自主事業損益	0	自主事業損益	0						
損益	0		1,485,223		差引	-18,270,130		-18,125,340		
人件費比率【人件費(賃金等)／令和5年度指定管理者事業支出】(支出に占める人件費の割合)									46.9%	
本社経費が、計画額と実績額で異なる理由										

5 管理運営全般 ※ すべて ☒ で、「3」、「4」「5」とする場合は、評価理由欄に理由を記載してください。

管理運営全般	区分	確認内容		チェック欄	評価
	職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が、適正で有効に配置されているか		☑	
		配置実績 (うち市内雇用職員数)	館長1人(1人)、主事1人(1人)、事務職員2人(2人)		
		2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか			
		3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか			
		4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか			
	平等利用	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		☑	
		2 使用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか			
	経理	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いが適切に行われたか		☑	
		2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか			
	施設・備品の維持管理	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に実行されたか		☑	
		2 備品はⅠ種、Ⅱ種を明確にし、それぞれ台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか			
	セルフモニタリング等	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		☑	
		2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが遅滞なく提出されたか			

6 危機管理体制

※ すべて ☒ で、「3」。1カ所でも空欄の場合は「1」「4」「5」とする場合は、
評価理由欄に理由を記載してください。

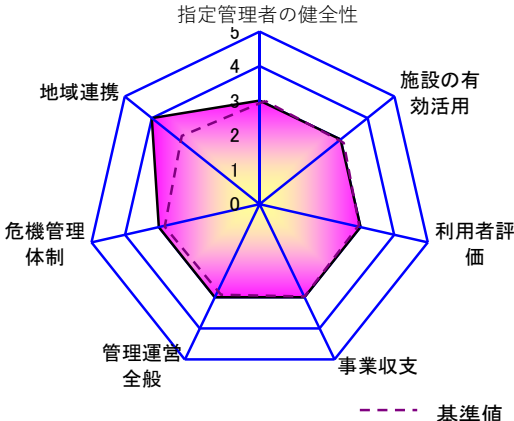
No. 81

危機管理体制	区分	確認内容	チェック欄	評価
	安全対策	1 危機管理マニュアルなどが整備されているか	☒	3
		2 危機管理マニュアルなどの内容が職員に周知されているか		
		3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
	個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	☒	
	防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	☒	
		2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
	緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	☒	
		2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		

7 地域連携

地域連携	地域の声を聞く体制や、協働で地域貢献ができる運営であったか。市内雇用や市内事業者から物品を購入する等、地域を活用した管理運営であったか。障害者就労施設等からの物品及び役務の調達に努めたか。		評価
	協定内容・指定管理者提案	追加された内容、未実施の内容及びその理由	4
	1 地域公民館の要となり、連携して事業を進める。 2 職員は、地域行事に積極的に参加し地域との連携を図る。 3 住民自治協議会各部会、地域の諸団体等と連携して事業を進める。 4 小・中学校、保育園、育成会等と連携した、幼児・青少年育成事業を進める。 5 地区内の人材発掘・育成に努め、可能な限り地元から職員を採用するように努める。 6 講座の講師は地元から積極的に採用数するなど、地元の人材を活用する。		

【総合評価】

総合評価	評価項目	評価	得点	総合評価	
	指定管理者の健全性	3	6	合計得点	
	施設の有効活用	3	12		
	利用者評価	3	12	62	
	事業収支	3	6		
	管理運営全般	3	12		
	危機管理体制	3	6		
	地域連携	4	8		

評価理由

【地域連携】を「4」とした理由
 ・住民自治協議会や地域公民館と連携して、研修会やスポーツ大会等を実施していること。
 ・豊富な地元講師を活用して、郷土料理や自然・環境学習等を行っていること。を評価した。

取組み・改善案等
(施設所管課)

前年度からの課題

改善状況

改善案等(改善されていない場合)

次年度の目標・
取組み等
(施設所管課)

・新型コロナウイルス等感染症防止対策を徹底し、引き続き利用者が安心して利用できる施設を目指す。
 ・ホームページや地区回覧等、さまざまな情報発信を行い、施設の魅力や講座をPRし、利用者の増加を目指す。
 ・住民自治協議会や小中学校をはじめとする教育機関、地域の事業者と連携した事業の実施を目指す。

指定管理者自己評価

(1) 今年度の取組みに対する評価

① サービス向上に向けての取組み

- ・午後から夜間などの連続利用について、消毒することで一時退室をお願いしていたが、市の指導で連続して使えるよう改めた。
- ・傘置き場が満傘となり、置き場所が無いとの苦情で、3か月毎に置き傘を処分して、センター入口を整頓している。

② 業務の効率化に対する取組み

- ・貸館予約表を窓口に貼りつけ、鍵の貸出等の受付時間を短縮した。
- ・団体登録の説明会について、新規と連続登録する団体を区分けして説明し、簡素化を図った。

③ その他

- ・成果品のでる講座(金継ぎ・消しゴムはんこ・あみ物)について館内に展示して、装飾するとともに創作意欲の向上を図った。

(2) 指定管理者業務実施上の課題

- ・管理を担当する住自協は、市と公民館への信頼が全く無く、相互の連携がなされていない。指定管理について、市と住自協が協議を深めないと、更新は困難と感じています。

(3) 総合評価

評価基準

- 【A】計画や目標を大きく上回る 【B】計画や目標を上回る 【C】計画や目標どおり
【D】計画や目標を下回る 【E】計画や目標を大きく下回る

指定管理者
自己総合評価

B

① 評価理由

- ・成人学校では受講者が予定より約14%増となり、発表会・展示会での成果を踏まえ充実した社会教育が実践できた。
- ・地元からお菓子・パンづくり・郷土料理の講師をサークルから発掘して食育教育講座が展開できた。

② 次年度以降の取組み

- ・子育て講座を2学期制として未就学児の幅を広げたい。
- ・ヨガなどフレイル予防のニーズが高いため、応募者数によっては、回数を増やしたい。
- ・PR方法を研究し、夏休みラジオ体操の拡大を図りたい。